

自分の手でかたちにしたアイデアはどのように暮らしを快適にするだろうか
～製作体験についての振り返り～

1. 今回、見いだした問題（誰が、どのようなことに困っているのか）は何ですか

自分が物を置くスペースに困っている。

2. 問題から設定した課題は何ですか

より空間を利用して物を置く。

3. 解決策としてまとめた設計の印刷物（三面図、材料取り図）を添付しましょう。

4. 「試作品」と「完成した製作品」の画像を貼り付けましょう



ワークシートを振り返り、製作品はどのくらいの二酸化炭素をためているか計算しよう

私の製作品は（600）グラムです。

この木製品は、（100）グラム（550）リットルの二酸化炭素をためています！！

6. 製作品の機能（大きさ、形状、使いやすさ、便利さ等）や丈夫な部材・構造（材料の使い方、部材の組み方の構造、接合の仕方等）の優れた特徴について、見方・考え方の3つのポイントから詳しく説明してみよう

見方・考え方のポイント

科学的な原理・法則 どのような構造（部材の組み合わせ）や形状（材料の使い方）をしているのか
技術のしぐみ 目的のために、どのようなしぐみになっているのか

問題解決の工夫 より便利に使用するためにどのようなことに気をつけているのか

1. 足組みを元はL字にしました。そして前は、土台の下の部分に木を当てて、たて木が元になりました。

2. ほくは、物をおきたいので、すき間が大きくなるように、パイプを3本をききました。

3. 角があたていけなくないように、角をヤリでとってなやらかにしました。

7. 自分の設計した製作品によって、どんな人に、どのように役立ち、生活や社会の問題を解決できるか、以下の3つの観点から（すべてでなくてよい）、詳しく説明してみよう

社会的側面 社会からの要求、安全性等が高い

環境的側面 環境（リサイクル、リユース、リデュース）への負荷等が少ない

経済的側面 費用、購入後の保守等が優れている

ほくの台は、台置してもかえりし、ほくが乗っても大丈夫なので、とても安全です。そして、すべて木なので、こお木でも、もやし材しておかたりにていきててもいいです。そして、ヤリでけずてあり、しはれささずいいです。